

SARS-CoV-2 感染およびCOVID-19を発症した臓器移植患者の 多施設共同観察研究（ワシントン大学） 概要

実施期間

2020年3月6日～

研究機関

ワシントン大学感染症科

研究目的

臓器移植患者がSARS-CoV-2感染およびCOVID-19を発症した症例の背景、COVID-19に関する検査所見、治療内容と臨床経過を明らかにする。これにより今後COVID-19を発症した移植患者に対する適切な検査、治療の方法について明らかにする。

主研究者

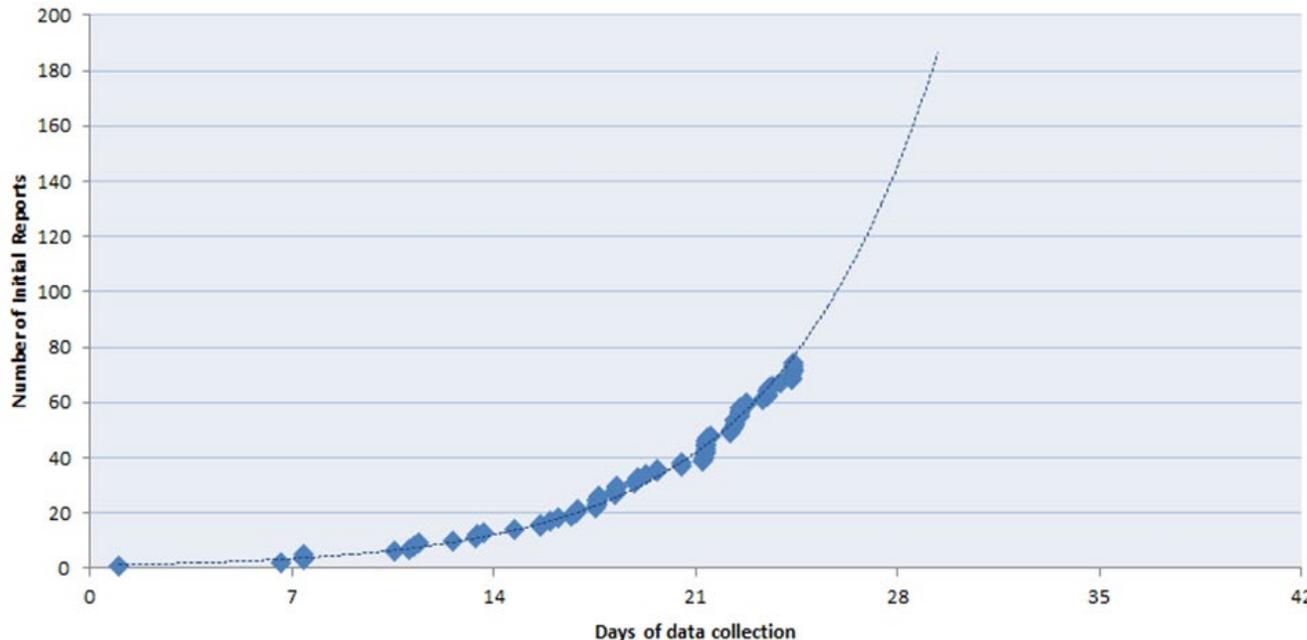
Olivia Kates

研究対象

臓器移植をうけた移植患者で、検査および臨床基準からCOVID-19/SARS-CoV-2の感染と診断された患者で、除外基準はない（年齢、国籍、居住地、移植時期は問わない）。

研究方法

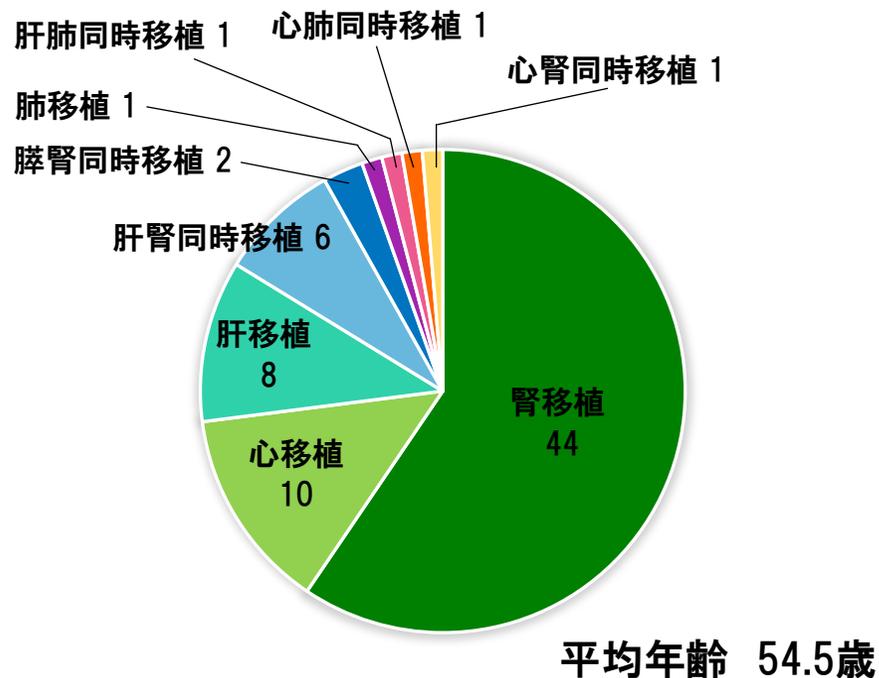
多施設共同観察研究で、データ集積管理システムのREDCapで匿名化して登録された居住地、背景、COVID-19に関係した検査のデータを解析する。



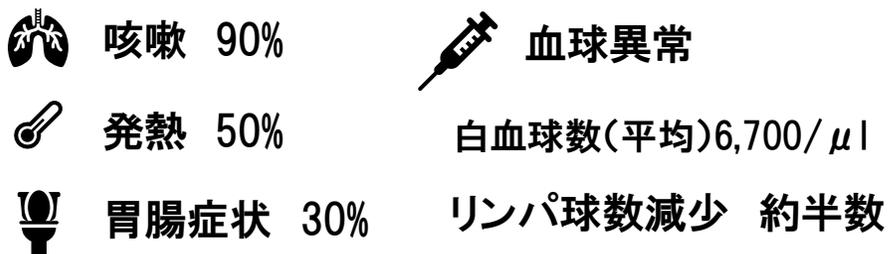
2020年4月3日までの登録状況

COVID-19を発症した移植患者の概要(n=74) (～2020年4月3日)

患者の背景



発症時の所見



最近移植をした10例

導入免疫抑制剤

ATG 40%
 バシリキシマブ 30%
 アレムツマブ 10%
 (抗CD52モノクローナル抗体)
 ステロイド単独 20%

発症時の状況

入院 66%
 ICU 28%
 人工呼吸器管理 16%
 新規透析導入(2)
 ECMO なし

① 同時感染 細菌/ウイルス
 ライノウイルス (1)
 インフルエンザウイルス (1)
 緑膿菌 (2)
 A群溶血性連鎖球菌 (1)

治療内容



COVID-19に対する治療

ヒドロキシクロロキン (26)
 レムデシビル (6)
 トシリズマブ (4) (IL-6受容体モノクローナル抗体)
 クラザキズマブ (1) (抗IL-6抗体)
 ロピナビル・リトナビル (1)



内服調整

免疫抑制剤の減量 68% (多くは代謝拮抗薬を中止)
 RAS阻害薬服用者(39%) 2/3が中止

COVID-19で死亡した3例の分析

- ・腎移植患者 2例 人工呼吸器管理
- ・移植後1年以上経過 + 昇圧薬使用
- ・慢性疾患を合併 + ヒドロキシクロロキン
- ・発症時の症状は生存例と著変なし + アジスロマイシン
- ・リンパ球数減少 + トシリズマブ/クラザキズマブ (→第7, 11病日に死亡)
- ・プロカルシトニン↑(2) 1例 治療希望せず
- ・緑膿菌肺炎合併(1) → 第2病日に死亡